

平成26年/2014

No.23
野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ご あ い さ つ

野口遵顕彰会

会長 清本英男

初夏の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、野口遵顕彰会は設立して14年になり、これまで各事業とも順調に進めることができました。その中で『ジュニア科学者の翼』は、これまでに149名の中学生の皆さんを東京にある科学館、研究所に研修派遣していますが、その成果も着実に上がっています。そして、何よりこの事業に対する中学生の皆さんの関心が高いことを大変うれしく思っています。この『ジュニア科学者の翼』を含めた本年度の事業計画は別紙のとおりです。

また、今年には野口遵翁の没後70年になります。延岡に合成アンモニア工場を建設後、朝鮮半島に進出して興南に一大工場群の建設をきっかけに、アジア全域にわたって開発の夢を広げていきましたが、突然病に倒れて昭和19年（1944年）72歳の生涯を閉じました。世界を視野に事業の発展を図り、事業家として世界の平和に貢献したいという願いを持って、仕事一筋に生きた野口遵翁の生涯でした。

このような野口遵翁の偉大な業績と遺徳を多くの皆さんに伝え、この顕彰会のますますの発展に努めたいと思います。今後とも、皆さまのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成26年6月

副読本縮刷版の配付事業

《「のべおか新興の母 野口 遵」》

中学校副読本「のべおか新興の母 野口遵」（冊子）は、野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市の発展に多大な功績を残したことなどを、中学生向けに分かりやすく紹介しています。

この冊子の縮刷版（B6版）を、延岡市（18校）、高千穂町（4校）、日之影町（1校）、門川町（2校）および五ヶ瀬中等教育学校、合わせて26校の中学2年生全員に今年も1,900冊配付いたします。

今回で10回目の配付となりましたが、中学生の皆さんにしっかり読んでもらって野口遵翁の考え方や人物などの理解に役立っています。

〈事業費 52万円〉



青少年科学技術研修派遣事業

《第14回『ジュニア科学者の翼』》



毎年夏休み期間中に3泊4日の日程で、中学生12名を関東地区にある科学館、研究所に派遣していますが、今年も7月29日（火）から8月1日（金）に東芝未来科学館、野口研究所、科学技術館および日本科学未来館に派遣して研修します。

これは、21世紀の新しい産業社会の担い手となる中学生の皆さんに科学技術への関心を高めてもらい、将来活躍する人材への成長を期待して派遣しているもので、文部科学省からも青少年の科学に対する啓発に寄与して

いる旨高い評価を得ています。

派遣生徒は、各中学校からの推薦を得て6月末までに12名を選考・決定します。また、この中から優秀な者1名を選考して、野口研究所から「学修奨励金」が高校入学時から3年間、毎年10万円が授与されます。

〈事業費 160万円〉

第14回『野口賞』授与事業

宮崎県内で独自の事業拡大、研究開発、技術開発を行い、顕著な業績を上げた企業や個人を募集・選考して賞状と賞金を授与していますが、本年度も広く募集します。

そして、厳正な審査を行って『野口賞』を決定し、『野口賞』には賞金100万円、『野口賞』には該当しないが優秀なものに「奨励賞」（賞金50万円）を授与いたします。

これまでに『野口賞』（賞金100万円）を2名の方々が、また、「奨励賞」を11グループ（企業または団体）の皆さんが受賞しています。「奨励賞」を受賞されました皆さんは『野口賞』（賞金100万円）に再応募することもできます。奮って皆さんのご応募をお願いいたします。



<事業費 170万円>

◆応募案内	6月中旬
◆応募締切	7月末
◆授賞者の決定・発表	10月
◆授賞式	11月中旬

第6回「野口遵翁とカザレー博士」顕彰祭（未来に語り継ぐ会）

平成21年より行っていますこの「顕彰祭」を今年も10月5日（日）、日本で初めて合成アンモニアが誕生した記念すべき日時に実施します。

野口遵翁は大正12年（1923年）、当時鉄道も通ってなかった延岡の地に20世紀をリードする化学工場の建設を行い、現在の工業都市「延岡」の基礎を築かれました。また、カザレー博士はこのアンモニア合成法の発明者で、運転開始に伴いイタリアから来延・滞在して直接指導にあたり、日本で初めての合成アンモニアの誕生に尽くされました。

この功績を広く後世に伝えるために、この行事をアンモニアが誕生した10月5日16時30分の記念すべき日時に毎年実施しています。

<事業費 10万円>



『ジュニア科学スクール』事業

一昨年より小学校高学年（5・6年生）を対象に、「科学」に一層関心を高め学習する機会として実施していますが、今年は回数を増やして年6回、「実験」とその解説を中心に楽しく学習できる内容で計画したいと考えています。

なお、休日を利用して学校以外での開催も計画したいと考えています。この場合、1回の募集人員は30名程度とし、会場の都合や実験内容などを考慮して決めます。参加者は延岡市内の小学生とし、新聞等により公募いたします。

<事業費 30万円>

「曾木発電所遺構と曾木の滝」を訪ねて！！

野口遵翁は明治43年（1910年）鹿児島県伊佐郡大口村（現在の伊佐市）において、近くの金山に電気を供給するために曾木発電所を建設して事業家（経営者）としての第一歩を踏み出しました。その後、延岡はもとより朝鮮に進出し次々と建設した近代工場によって、その町が一大発展を遂げるきっかけとなりました。

この曾木発電所は、明治時代の洋風建築物（レンガ造り）として貴重な“産業遺産”となっています。昭和40年ダム建設のため水没しましたが、現在は渇水期の5月から9月に中世ヨーロッパの居城跡を思わせるその姿をあらわします。

東九州自動車道が開通したこともあり賛助会員の皆さまと一緒に、この「曾木発電所遺構」と同じ公園内にある東洋のナイアガラと呼ばれる「曾木の滝」（幅 120m、高さ 12m）を訪ねたいと思います。

＜事業費 24万円＞

ご意見・ご提案について（お願い）

野口顕彰会活動や取組み事業に対する忌憚のないご意見・ご提案をお聞かせください。事業計画や活動に生かしていきたいと思っております。下記事務局までお電話、あるいはFAXにてお気軽にお寄せください。よろしく願いいたします。

「賛助会員」募集について（お願い）

野口顕彰会では「賛助会員」を常時募集しています。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同くださる皆様のご入会とご紹介をよろしくお願いいたします。

賛助会費は、

（法人）1口 1万円/年間；（個人）1口 1,000円/年間

※1口以上何口でも結構です。

ご入会を希望される方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

●連絡先

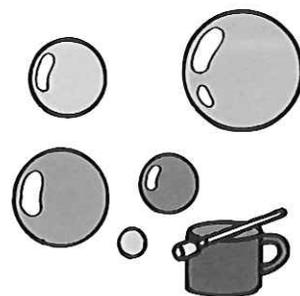
野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0824

宮崎県延岡市中央通り3-5-1（延岡商工会議所内）

TEL (0982) 33-6666

FAX (0982) 33-6682



ホームページを開設しています。事業の実施状況をはじめ“最新情報”を掲載しています。どうぞアクセスしてみてください。

＜ホームページアドレス＞ <http://www.wainet.ne.jp/~noguti-k>

平成 26 年 度 役 員

名誉顧問	宮崎県知事	河野俊嗣
名誉会長	延岡市長	首藤正治
顧問	高千穂町長	内倉信吾
	日之影町長	佐藤 貢 (新任)
	延岡市教育長	町田 訓久
	九州保健福祉大学 学長	迫田 隅男 (新任)
	旭化成株式会社 常務執行役員・延岡支社長	山添 勝彦 (新任)
	旭有機材工業株式会社 相談役	佐次 洋一 (新任)
	西松建設株式会社 執行役員・九州支社長	宮崎 文秀 (新任)
相談役	宮崎日日新聞社 延岡支社長	末崎 和彦
	夕刊デイリー新聞社 社長	佐藤 公昭
会長	延岡商工会議所 会頭	清本 英男
副会長	旭化成株式会社 延岡総務部長	真野 勝文
幹事長	元旭化成株式会社延岡総務部 課長	生田 邦昭
常任理事	内藤家顕彰会 会長	大崎 清
	前延岡市議会 議長	稲田 和利
	宮崎県工業会県北地区部会 副会長	吉玉 典生
	旭化成協力会 会長	村上 芳功
	元旭化成株式会社延岡支社 企画管理部長	山崎 義昭
	旭化成延岡OB会 会長	高橋 忠彦
理事	延岡異業種交流プラザ 代表幹事	山本 俊幸
	株式会社 興電舎 社長	甲斐 稔康 (新任)
	株式会社 三井 社長	永友 隆 (新任)
	センコー株式会社 執行役員・延岡支店長	是沢 可人
	延岡商工会議所 専務理事	黒木 清 (新任)
	延岡市商工観光部長	野々下 博司
	延岡市教育委員会 教育部長	池田 秀樹
	西松建設株式会社 延岡出張所長	沼 義光
	清本鉄工株式会社 参与	福島 秀幸
	旭有機材工業株式会社	
	執行役員・管材製造所長	原田 徳房
	延岡市商店会連合会 会長	松尾 光純
	旭化成愛宕地区工場OB会 会長	佐藤 賢司
	旭化成恒富地区工場OB会 会長	三輪 洲弘
	旭化成労働組合 延岡支部長	中原 和雄
監査役	延岡信用金庫 理事長	金丸 恵一
	木山会計事務所長 (税理士)	木山 誠